

岐阜大学の学生が各種表彰を受けました

令和6年10月19日(土)

学生ボランティア団体「ゆにんくる」が「医療的ケア児者を応援する市区町村長ネットワーク」から表彰されました



令和6年11月9日(土)

「Tongaliアイデアビッチコンテスト2024」で2つの学生チームが優れた成績を収めました



令和6年12月1日(日)

土木デザイン設計競技イベント「景観開花。」において本学学生グループが優秀賞を受賞しました



スブラス・マレット大学と共催で気候変動に関する国際会議を開催しました

令和6年11月6日(水)～8日(金)

大学院連合農学研究科はインドネシアのスブラス・マレット大学と共催で、「第10回International Conference on Climate Change 2024」(ICCC:気候変動に関する国際会議)を岐阜大学にて開催しました。今年は「気候変動、植物、健康」をテーマとして、3日間で対面56名・オンラインで66名が参加。国際的な視点で多様な知見が共有され、次世代の研究者を育成する重要なステップとなりました。



「茂木健一郎先生と考える脳とAIのアライメント」を開催しました

令和6年11月13日(水)

OKB岐阜大学プラザにて、脳科学者の茂木健一郎先生を講師に迎えた特別講演「脳とAIのアライメント」を開催しました。このイベントは、グローバル推進機構、人工知能研究推進センター、工学部電気電子・情報工学科情報コースの共催で実施。「知性をどう定義するか」というテーマで、人間の目的や価値観を反映するAIの在り方について講演をされました。講演後には、茂木先生と本学教授らが教育や研究への協力について意見交換を行いました。



輪之内町と共催で「ぎふフューチャーセンター」を開催しました

令和6年11月24日(日)

地域協学センターと輪之内町は共催で、地域の人々による未来志向の対話を通じて、地域課題を解決することを目的とする「ぎふフューチャーセンター」を輪之内町文化会館にて開催。「楽しく知って広めよう！始めないともったいない！？家庭でできる省エネ行動」をテーマに、脱炭素社会に関するミニレクチャーや省エネ診断、グループワークなどが行われ、「とても有意義で勉強になった」といった意見が多く寄せられました。



大垣共立銀行と「遺言を活用した遺贈寄付に関する協定」を締結しました

令和6年12月10日(火)

OKB岐阜大学プラザにて、岐阜大学と株式会社大垣共立銀行による「遺言を活用した遺贈寄付に関する協定」締結式を行いました。本協定は遺贈寄付を円滑に実現するためのもので、本学への遺贈寄付を検討する方に対して、大垣共立銀行が専門的な知見を活かして助言を行います。安心して手続きを進められる環境が整備され、集まった寄付によって大学の教育・研究活動や地域社会の発展につながることを期待します。



「産学金官連携人材育成・定着プロジェクト」成果発表会を開催しました

令和7年1月30日(木)

「産学金官連携人材育成・定着プロジェクト」の一環として、工学部の学生や地域協学センター教員らによる成果発表会を開催しました。岐阜県、産業界、大学、さらには金融機関が連携し、県内企業の高度技術者などの確保・育成および定着を支援する本プロジェクトでは、28の学生グループが企業での実習で得られた学びの成果を発表しました。今後も産学金官が一丸となり、地域社会の課題解決に貢献できる人材育成に尽力してまいります。



持続可能な航空機生産のためのコンソーシアム(CSAP)が発足しました

令和7年3月1日(土)

岐阜大学と名古屋大学を運営する東海国立大学機構は、ボーイング ジャパン(株)、三菱重工業(株)、川崎重工業(株)、(株)SUBARUと共同で「持続可能な航空機生産のためのコンソーシアム(CSAP)」を設立しました。このコンソーシアムは、航空機製造業界が直面する共通の課題に対処し、業界全体の持続可能性を向上させることを目的としています。これにより日本の航空宇宙産業が国際市場で優位に立つことが期待されています。



絵画「檸檬の木」寄贈に伴う除幕式を開催しました

令和7年3月25日(火)

洋画家の上葛明広さんから寄贈された絵画「檸檬の木」の除幕式を開催しました。上葛さんは飛騨市神岡町出身で、女子美術大学大学院教授などを務められ、令和5年度には紺綬褒章を受賞しています。今回は芸術を通じて社会貢献を行いたいという思いから、本学に絵画を寄贈いただくことになりました。今後、作品は岐阜大学図書館2階に展示されます。ぜひご覧いただき、「檸檬の木」の表現や思いを感じ取ってください。



第2回SPARC-GIFUシンポジウムを開催しました

令和7年2月11日(火)

第2回SPARC-GIFUシンポジウム「みんなで考えよう！元気な地域の人づくり～地域課題の探究と解決に向けて～」をホテルリソル岐阜にて開催しました。本シンポジウムは、岐阜大学・中部学院大学・岐阜市立女子短期大学が連携し、「SPARC-GIFU(ぎふ地域創発人材育成プログラム)」の一環として実施。招待講演やパネル・ディスカッションが行われ、各大学や地域社会がどのように人材育成に取り組むべきかを考える場となりました。



赤松諒一選手(本学教育学研究科修了)とスポンサー契約を締結しました

令和7年3月10日(月)

岐阜大学は、パリ2024オリンピック陸上男子走高跳びで、5位に入賞した赤松諒一選手(本学大学院教育学研究科修了、現SEIBU PRINCE所属、本学医学系研究科研究生)とのスポンサー契約を締結しました。赤松選手は2月にチェコで行われた国際大会の「スターズ in ネフヴィズディ 2025」に、岐阜大学のロゴが入ったユニフォームで挑み、2m25の記録で見事優勝を果たしました。本学は今後も赤松選手の活躍を応援していきます。



南フロリダ大学と学術交流協定の更新調印式を実施しました

令和7年4月4日(金)

南フロリダ大学訪問団17名が岐阜大学を訪問し、学内外施設の視察および学術交流協定書の更新調印式に出席しました。同大学とは2016年に医学部が部局間協定を締結し、交換留学制度を確立。2020年の大学間協定締結後は、学生・教職員がそれぞれの大学を訪問し交流を深めており、2024年には南フロリダ大学医療教育シミュレーションセンターとの提携協定に発展しました。今回の協定更新により、さらに学術交流が深まることを期待します。

